



第 50 号

発行所
 公益社団法人
 貝塚市シルバー人材センター
 住所 〒597-0083
 貝塚市海塚1丁目17番20号
 電話 072-432-3620
 FAX 072-436-3957



『俳画』 会員 前窪 靖弘 作

目 次

新年のごあいさつ..... 理事長 勝 論 (2)

新年のごあいさつ..... 貝塚市長 藤原 龍男 (2)

発注者の声..... (3)

職場探訪..... (3~4)

街頭啓発..... (5)

清掃奉仕活動..... (5)

会員作品展..... (5)

貝塚市の発展の礎となった水間鉄道..... (6~7)

今年の年男・年女の会員..... (8~10)

秋の催し..... (11)

会員の広場..... (12)

編集後記..... (12)

新年のごあいさつ

理事長

勝

論



新年おめでとうございませう。

会員の皆様並びに関係各位におかれましては、お健やかに新年をお迎えのこと

と、心からお慶び申し上げます。

平素は、シルバー人材センター事業の推進にご理解・ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

新年のごあいさつ

貝塚市長

藤原 龍男



あけましておめでとうございませう。

貝塚市シルバー人材センターの会員の皆様には、健やかに新春をお迎えのこと

お慶び申し上げます。

旧年中は、市政の推進にご理解・ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。



さて、昨年は7月に豪雨が発生し、気象庁は「平成30年7月豪雨」と命名しました。その被害も冷めやらぬ9月には、超大型台風21号が通過し、甚大な被害に晒されました。屋根の瓦などが飛び、今もブルーシートが掛けられているなどの痛ましい姿を見ると、改めて天災の恐ろしさを認識させられる1年でありました。

そんな中で、当センターの平成30年度上半期事業の契約実績については、約2億8千6百万円となり、本年度の目標額である5億8千3百万円を下回りそうではありますが、何とか下半期で巻き返せる様、頑張つて参ります。

さて我が国では、急速に高齢化が進んでいます。平成30年10月時点の推計によりますと、全人口のうち65歳以上の方の割合は、全国で28・1%、大阪府で26・8%、本市におきましても25・8%となっております。

少子高齢化が進み人口が減少している中で地域社会の活力を維持していくために、働く意欲と能力のあるすべての高齢者が年齢にかかわらず活躍し続けることができる「生涯現役社会」を実現することがますます重要となっております。

平成29年3月に国の働き方改革実現会議が決定した「働き方改革実行計画」において高齢者の就業促進が位置付けられ、「健康づくりや

また今年は、4月30日に天皇陛下がご退位され、5月1日に皇太子様が新天皇に即位され、平成の時代は終わりを告げ、新たな時代の幕開けに直面することになります。

シルバー人材センター事業においても、同様に新たな気持ちで、今後とも「生涯現役社会」の実現のためにその役割を果たし、併せて高齢者の生きがいの充実、社会参加を實行し、地域社会の活性化に寄与してまいりたいと考えております。

最後になりますが、皆様方には、ご健勝とご多幸、並びにますますのご活躍を祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

フレイル対策を進めつつ、シルバー人材センターやボランティアなど、高齢者のニーズに応じた多様な就業機会を提供する」とされ、シルバー人材センター事業の果たす役割の重要性と地域社会の期待は一層大きなものとなっております。

本市といたしましては、高齢者が豊かな知識や能力を生かし、社会を支える一員として、就業、ボランティア活動、文化教養活動など幅広く社会に参加・貢献していただけるよう、引き続きシルバー人材センターの運営を支援してまいります。

結びに、貝塚市シルバー人材センターの今後ますますのご発展と会員の皆様のご健勝、ご活躍を祈念し、新春の挨拶とさせていただきます。

発注者の声

二色の浜公園 園内清掃業務



二色の浜公園管理事務所長
岡田 一博

平成21年から指定管理者として二色の浜公園を管理しております
大阪府営二色の浜公園管理連合会です。
貝塚市シルバー人材センターの会員の方々には、平成21年から業務をしていただいております。

業務内容は、園内清掃、トイレ清掃と主に公園の清掃業務を担当してもらっています。毎日交代で総数15名の会員の方が、就業しています。公園の清掃業務は、来園者の方が「安全・安心」に公園を利用してもらえるように清掃していただいています。貝塚市シルバー人材センター会員の方は、園内のゴミの他、ガラス片のゴミなどで来園者の方が、怪我をしないように細かい気配りで清掃していただいています。



職場探訪

会員の皆さんは、ご高齢の方もいらっしゃると思いますので、夏の炎天下、冬の寒い中の作業をしていただいていることに改めて感謝の気持ちを表したいと思えます。
末筆になりましたが、貝塚市シルバー人材センターの会員の皆様方のご健勝をご祈念申し上げます。

貝塚市シルバー人材センターは大阪府二色の浜公園協会事務所より、二色の浜公園内(沢地区および脇浜地区)の作業業務を受託しています。作業業務は二色の浜公園の清掃および除草作業とトイレの清掃作業との二つがあります。

会報編集委員会ではこれら二つの作業に携わっておられる会員さんから、仕事の内容についてお話を聞くことができました。

(1) 二色の浜公園内の清掃・除草作業業務について

就業会員数 男性7人
就業時間帯 8:45~16:30
就業日 毎日(ローテーションで)

(2)二色の浜公園内のトイレ清掃作業について
 就業会員数 女性3人
 就業時間帯 8:00~14:00
 就業 日 6月~10月は、月水・金
 11月~5月は、月金

二色の浜公園は大阪府下で随一の海水浴場がある公園で、春には潮干狩りが楽しめ、夏には多くの海水浴客で賑わっています。このたびの職場探訪で話を聞き取った会員さんは、多くのお客様を安全で安心して、気持ち良く楽しんでいただくための、まさしく縁の下の力持ちを担っておられる、大事なお仕事であると認識いたしました。

男性会員さんの一人はお客様から、「花を綺麗に植えていますね」「花がとても綺麗ですね」「写真を撮らせて下さい」と声掛けされると、この仕事をやっていて良かったと話していました。もう一人の男性会員さんもこの仕事についてまだ半年ですが、草取りをしていてふと気がつくとき、青い空、青い海に白い砂浜・緑の松林・きれいな空気が、自分なんて素晴らしい環境で仕事をしているんだと幸せを感じる。この仕事をずっと続けると話しておられました。また女性会員さんも、トイレのよごれは毎度のことですが、お客様から「綺麗にしてもらってありがとう」の声掛けがあるたびに、やはりこの仕事をしていて良かった。これからも続けていこうと勇気と元気をもたらしますと話していました。



作業の方からお話を伺う

金原様

塚谷様

中村様

大浦様

それから沢地区公園内のバーベキューの後の炭火の後始末には火災防止の観点から特に注意をしています。どうかこれから先も健康第一で、二色の浜公園に沢山のお客様が来てもらえるように、仕事に精進されることをお祈りいたします。

文：井垣成一・安藤博文



掃除七つ道具を積んで移動



除草後



園内9箇所のトイレを3人で担当



除草作業



写真、中村辰男

街頭啓発

毎年10月はシルバー人材センター事業の普及啓発促進月間となっております。

センター事業を多くの皆様に知ってもらうために、10月28日(日)午前10時から貝塚シエルピアDeux(ドウ)アトリウムにおいて理事が、また10月17日(水)午後5時から南海貝塚駅・二色の浜駅、JR東貝塚駅・和泉橋本駅、水鉄水間観音駅・清見駅において地域委員が、啓発チラシ入りポケットティッシュを市民の皆様にご配布し、啓発活動を行いました。



清掃奉仕活動

「シルバーの日」恒例の清掃奉仕活動は、10月20日(土)理事、総務・女性・就業部会員と一般参加者2名を含めて総勢43名参加のもと行われました。

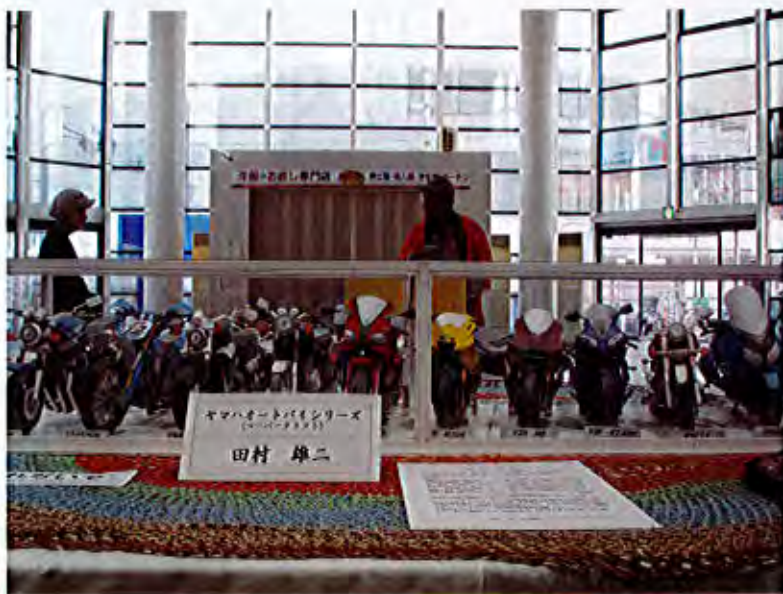
当日は午前9時にセンター作業所をスタートし、約1時間かけ市役所周辺道路の歩道を中心に3班に分かれて清掃しました。

参加された皆さまご苦労さまでした。

会員作品展

会員作品展が10月26日(金)・27日(土)・28日(日)の3日間にわたり、貝塚シエルピアDeux(ドウ)アトリウムにおいて開催されました。

展示期間中、約2,178人以上の方々が展示コーナーに足を運んで下さいました。



貝塚市の発展の礎となった水間鉄道



皆様ご存知の貝塚市を走る全長5.5kmのローカル線「水間鉄道」今回その原点から現在に至るまでのお話です。

明治後期頃、葛城・木島・熊取・木積等では茶・密柑・煉瓦・木綿・薬紙等の産物が多く、外国へ輸出する物も多くあったそうです。それらを南海電鉄貝塚駅へ運び込むために水間―貝塚間に、大正7年に馬車便が開通されたのです。この馬車便が水間鉄道の原点ではないかと考えられます。

その頃、京阪神では各私鉄が発達し、南海鉄道も明治30年には貝塚市域にも延伸されていました。そして、大正2年川崎覚太郎氏（元南海難波駅長）が地域

開発を見据えた鉄道敷設を立案した事が始まりとなり、大正13年に水間鉄道（株）が設立され、大正15年に全線開通されました。以来貝塚市民の通勤、通学の足として親しまれていますが、大正初めの計画当時としてはこの土地に鉄道を敷くという事は夢のような話だったようです。しかし、そこには熱い志の先人達が鉄道敷設の免許取得から資金調達や、用地買収などに東奔西走し、貝塚市の発展の礎を築いてきた歴史がありました。

その後、水間鉄道（株）は鉄道だけでなく、コンパクトな市域でタクシー・バス・住宅・観光といった多角経営を進めていきました。この水間鉄道は他の私鉄とは違い、路線が貝塚市域のみで完結し、かつ地元資本家の力で建設された他に類例を見ないユニークな鉄道でした。また、水間鉄道の開設は地域力を高める上で最大に貢献したとも言えます。

全盛期の昭和40年～50年代には年間400万人が利用し、約20億円の利益を上げた事もありました。しかし、その後のバブル期の失敗や少子高齢化による利用者の減少等で一時倒産するもグルメチェーン店「杵屋」から当時の会長が戦時中貝塚に疎開したという縁があった事で支援を受けて、新生会社として再出発できました。

現在も経営環境は苦しい状況ではありますが、水間鉄道立ち上げ時から支援を続けている貝塚市が「水間鉄道活性化再生プロジェクトチーム」を発足させ、観光協会や商工会議所も協力して支援し、水間鉄道自体も様々な努力を地道に続けています。

私達も地域の一員として経営努力を続ける水間鉄道を応援していければと思います。

最後に、平成11年に国の登録有形文化財に指定された水間駅舎を紹介します。この駅舎は、大正15年に水間鉄道の終着駅として現在地に建設されました。外観は水間寺の参詣客を意識して、正面中央部は卒塔婆（そとば）風のものになっています。その一方、左右対称の両端に円形の部屋を設置したりするなど、洋風のデザインが取り入れられています。当時、貝塚では珍しかった鉄筋コンクリート造りで90年以上経った今も基本構造は建設当時のままです。

平成12年には第一回「近畿の駅百選」の指定駅にも選ばれています。

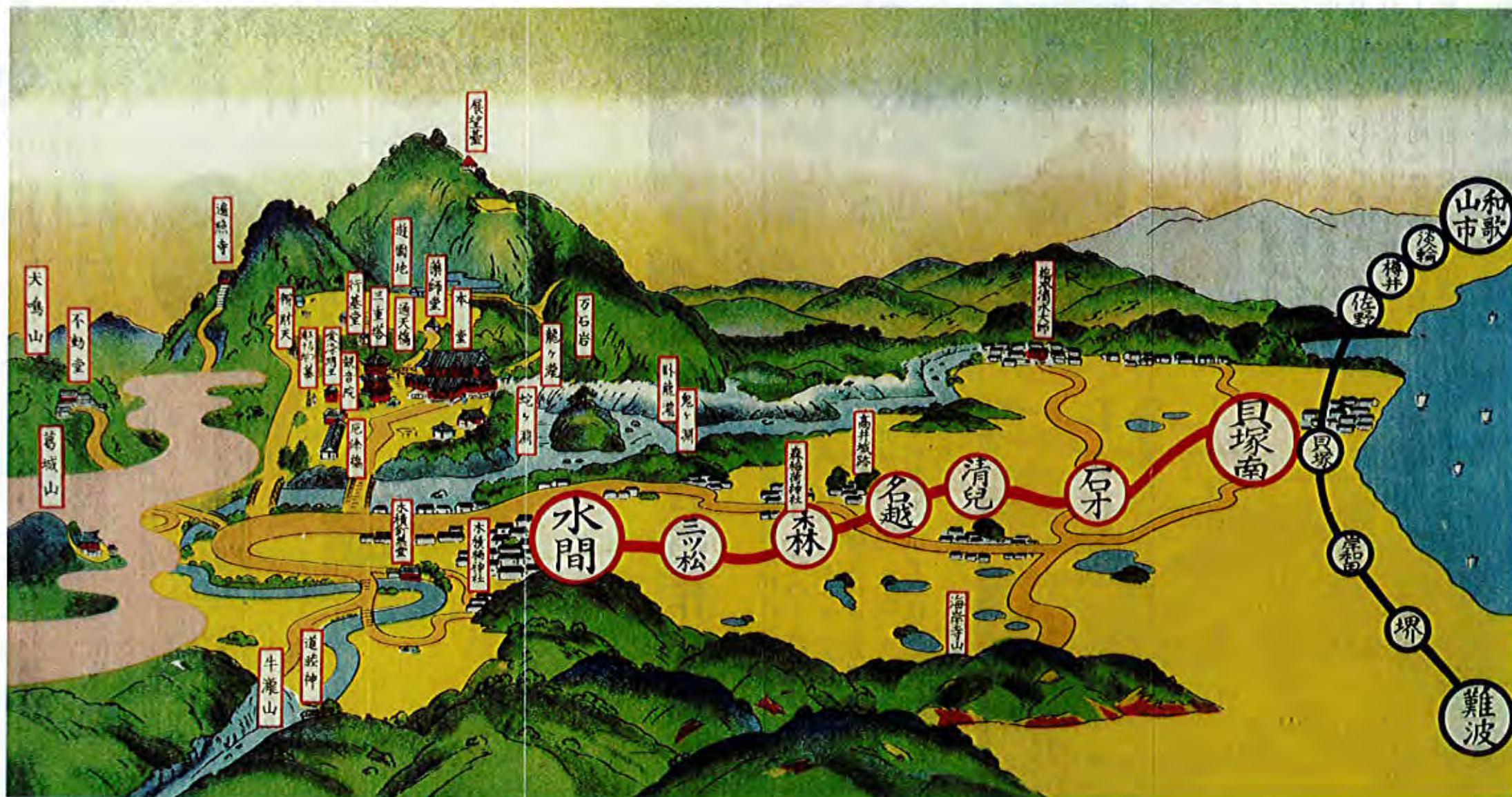
参考資料 ・貝塚市観光ボランティア養成講座資料
・貝塚市の70年 ・産経WEST
・貝塚市ホームページ

「水間電車案内」



開設時に作成されたこの案内は、水間寺を初め沿線の神社仏閣や、近木川の自然資源が詳しく描かれています。私はその裏面の水間寺周辺や沿線についての文に心ひかれたので紹介します。「梅・桜・つつじの春は言わずもがな、新緑の候はたけのこ掘りにわらび狩りも面白く、夏はこの地に暑さを避けて溪流にカジカの鳴くを聴き、夕べ螢狩りに涼を追うも楽しく、やがて秋ともなれば万山の紅葉錦よりも美しく、あるいは山ふところに栗を拾い、松茸を狩り、蜜柑を摘むなど興尽くること無かるべし、もしそれ冬来りて天気清朗なる時、銃を肩にして山野に猟するも楽しく、雪降る日一瓢を携えて銀世界の人となるもまた風流の随一たるべし」という文語調の見事な美文です。

文：鍋嶋寿美恵



今年が亥年、私達の年です。 よろしくお祈いします。

今年の年男、年女の会員さん達です。

質問事項

- ① 健康保持で気遣っていること
- ② 余暇の過ごし方 ③ 趣味

顔写真はお気に入りのスナップ(幼少・青春時代を含む)を掲載しました。



- ③ 着物の着付で踊りを見に行ったりする事が好きなのでよく行きます

- ② 友達とランチとかショッピングなどして楽しんでいきます

- ① 早寝、早起をするようにしています。又、お風呂で足をマッサージュする事です

清原 光代



- ・ PC で世界中の友人と交流
- ・ 写真撮影

- ③ 近現代史の研究のため情報、資料の収集と読書

- ② 写真撮影

矢部 俊彦



- ③ 別にありません

- ② スーパーへの買物(イオン、デオ)行く

新海 健一



- ② めだかの世話

- ① 毎年の健診を受診し、指導に従い、健康管理と運動を心掛けています

和田 光裕



- ③ 体を動かせる事

- ② 歩く事

行 サダ子



- ③ 国内旅行。最近娘が遠くへ行くなどうるさいです

- ② 休日は神戸の娘、子供、孫の所に遊びに行っています

- ① 休日は朝7時頃より1時間ほど散歩しています

寺本 利男



- ③ 読書、軽いサイクリング

- ② 出来るだけ字を読むように、新聞や本を読むようにしている

- ① 栄養の過多や運動不足について

杉岡 洋



- ③ ポウリングを週に1〜2回程度しているが一向にうまくならない。スコアは150〜160。もうすこしうまくならない

- ② 特に無し。近所をウロウロする位

- ① 特別な事はやってないが根布水を毎朝呑む位

徳瀬 美則



- ③ 特に今は何もしていませんが、指を使う事をしてみたい

- ② 買い物に行ったり、たまに映画を見に行きます

- ① 自分のペースで無理せず

月木 準子



- ①年相応の運動負荷で安定した体調を保持しています
- ②興味の有る工場や場所を調べて見学やゼミに参加しています
- ③ドライブ、写真撮影等



芝 春吉

- ①特になし
- ②足腰きたえる。手芸が好きです

栢原 年子

- ①なんでも、おいしくたべること
- ②この写真は47年前の写真です
- ③友達の畑にいつもいきます
- ④リサイクル工作

藤本 正廣



- ①・仕事が休みの日は、朝40分位、歩く。
・毎朝ヨーグルトを食べ、夜はビタミン剤をのむ
- ②妻と車で買い物に行ったり、パソコンでゲームをして楽しんでいきます
- ③庭の花いじり等で、特になし

小塚 則光



- ①散歩
- ②テレビゲーム
- ③20年程前にジグソーパズルをたくさん作りました

船戸 哲雄



- ①毎日1時間程度ウォーキング
- ②畑で野菜作り
- ③カラオケ

東馬場 国夫



- ①シルバーさんの仕事のお陰で早寝早起きし、少し腎臓が悪いため、薄味での食生活に気を付けています
- ②故郷で畑仕事に精を出しつつ、近くの温泉に孫と一緒に رفتたり、故郷でのんびりすごしています
- ③釣り、温泉、嫁が行きたがるので道の駅めぐり

大谷 則夫



- ①ウォーキング、外から帰ったら手洗いうがい
- ②テレビをみている
- ③なし

森田 一子



- ①二度の食事をきっちりする事
- ②野菜作り
- ③テレビでスポーツ鑑賞

坂本 淳一



- ①特になし
- ②パチンコ&競馬
- ③無し

奥 廣志



- ①東山町をジョギングをして居ます
- ②畑で野菜作り
- ③盆栽と、お酒を一杯飲んで、カラオケを唄って楽しんでいきます

臼井 道男



- ①ナン
- ②野菜作り
- ③ナン

大内田 義盛



- ①どこへ行くのも歩くようにしています
- ②小さな旅に出かけます
- ③特になし

市川 哲夫



- ①体に気を付け、病気になるないように過ごします
- ②皆さんに迷惑をかけるないように過ごします
- ③コイン、記念日のメダルコレクション、カラオケ

西田 八郎



- ①規則正しい睡眠(23:30~7:30)
- ②スポーツジム(週5~6日)
- ③ソフトテニス(週1回)、時代物小説(文庫本)、L・P・レコードを聴く

南 修





- ① 色々な食材を食べる事。(バランスよく)
- ② 夫婦でドライブ、ウォーキング
- ③ カラオケ、盆踊りの音頭

南 義廣



- ① 腹八分目にして、ストレスを貯めないようにウォーキング・サイクリング等で体を動かす
- ② 近くでは散策、遠方では行った事がない地域への旅行
- ③ ハイキング・読書

百々谷 章



- ① 毎日10000歩歩くこと
- ② 映画観賞
- ③ ぐい呑み(チョコ)集め

馬場 玲二



- ① 漢方薬(ツムラ)№18 味地黄丸、№2 抑肝散
- ② テレビ
- ③ 現在は何もなし

武井 大典



- ① 血圧が高いため塩分に気をつけています
- ② テレビ、友達とのおしゃべり、バイクで山と行く
- ③ 旅行、カラオケ、料理

竹下 恵美子



- ① 特に有りません
- ② これと言ってする事も無くゴロゴロしています
- ③ 最近特に有りません

告 福重



- ① ヨーグルト毎朝食しています。毎朝ストレッチ10分間
- ② 特になし
- ③ 海釣り(波止及びイカダ)、木工製作

奥埜 正豊



- ① 犬といっしょに歩いています
- ② 友だちとおしゃべり

山岡 節子



嶋崎 親	原田 佐知子	大戸 リヨ子	小南 洋子	山中 高子	高畑 正次	松本 尚造	北野 美智子	川崎 博之	苑田 美恵子	末吉 壽代	藤本 由紀枝	柿本 康美	奥野 一夫	石田 陽子	根来 秀則
篠原 則夫	濱中 千鶴子	船津 好子	根田 俊文	杉本 哲夫	宮藤 馨	堤 千恵子	早野 糸美	高田 俊晴	井上 亮一郎	鶴田 郁夫	竹内 安夫	神田 憲一	和田 幸美	杉岡 洋	松永 多恵子



- 有住 重男
- 大中原 純一
- 谷脇 隆子
- 中野 眞智子
- 朝日 宏幸
- 日根野 春美

亥

左記の会員さんも亥年生まれです



秋の催し



平成三十年度 会員互助会親睦行事

11月7日、奥水間温泉でシルバー会員の昼食会が催されました。今年の台風21号の影響で奥水間温泉は停電が5日程あったらしいですが、「建物自体の被害は大したことなくつて」と、お聞きし、「何よりだ」と思いました。温泉へ向かう道中、溪谷に鎮座する神社（道陸神社）を通過した時、「子供の頃、キャンプに来たなあ」と懐かしく思いました。戦国時代、兵士が湧き出る清水によって足の傷を治したことから足の神様「どろくさん」として信仰があつたそうです。当日、11月初旬とは思えぬ暖かく陽差しの温もりを感じました。

「美人の湯」で有名な奥水間温泉に到着するやいなや、個々で来られている方が沢山いらっしやう、皆揃うのを待ちかねていました。冒頭、事務局より本日の予定の説明、勝会長様の乾杯の音頭で、会は和やかに始まりました。
美味しい食事と共に飲酒される方、あち



らこちらから笑い声、カラオケを楽しめる方、温泉に浸かる方、宴たけなわのうちにお開きになりました。
短い時間ではありましたが、日常生活では味わえない心身共に癒されました。
これも偏に、勝会長様並びに事務局の方々の御尽力の賜物であります。会員を代表致しまして、御礼申し上げます。

文… 真利すみ子
芳谷加緒里



会員の広場

俳句

前窪 靖弘

緑立つ 山並みの先 伽藍見え
 山城は 朝霧の上に 赤く染め
 雪の峰 海原の果て 湧きいずる
 天高し 穂高の峰に 雲ひとつ
 甚平着て 冬支度の 辻地蔵



シルバー川柳

「認知症」

岡本 忠幸

認知症…が疑われる 歳となり
 設問は 誰でもわかる 事ばかり
 合格に 喜悅するとは 恥ずかしい

川口 明

喜寿のあと 傘寿に米寿 待ってます
 平成が 就活ノート 作成中
 ストレスを 吸い取るホース 有ればなあ

大条 尚美

ケチャップで 穴開き隠す オムライス
 冗談が 言える仲まで あと少し

編集後記

あけまして
おめでとうございます



昨年は、西日本豪雨や北海道地震
 と自然災害が相次ぎ、中でも、台風
 二十一号では、多くの会員の家屋等
 が罹災したと見聞きしました。一日
 も早い復興を願います。

今年は「亥」年。左右を顧みず、
 「猪突猛進」する猪のように元氣な
 会員の更なる活躍を期待します。

五〇回の節目に立ち会った、編集
 委員には感慨深いものがあります。
 記念の五〇号発刊に際し、投稿して
 いただいた方々に感謝し、心より厚
 くお礼申し上げます。

会報編集委員会

